

編輯部報情閣内

報週真寫

ノセ十 號日七十二月四

兒童愛護週間
技術報國の誓ひ

本下あ方れ、圖にあたれ





天長の佳節に方り謹で 萬壽無疆を祈り奉る



四月三日、パウエル侯一行は神城の森殿に機を正しつゝ伊勢神宮に参拝した。

三月二十七日、イタリア特派使節歓迎國民大會は東京小石川後樂園スタジアムにパウエル侯一行を迎へ、近衛首相以下各大臣をはじめ内外名士多数列席、十六萬餘市民の嵐の如き歡呼の中に華々しく進行された。



四月十日、三百萬市民の熱狂的歓迎裡に使節團は大阪に入つた。



使節團は日本へ數々の土産を携へた。その中には従来イタリア政府が海外に搬出を禁止してゐた種の貴重な古美術品もある。



四月二日、いよいよ退京西下することになつたパウエル侯一行は、東京驛で見送りの成田外相と最後の固い握手を交した。



四月四日、懐れの古都京都に一夜の夢を結んだ一行は、京都御所、二條離宮を拜觀、平安神宮に参拝した後、櫻花咲き亂れる清水寺に詣つた。

うよき
らな

四月二日、午前九時一行は我が朝野とつきぬ別れを惜しみつゝ東京驛西下した。

フアシスト訪日使節を導く
去る三月十九日、日伊親善の輝く使命を帯びて入京、我が朝野と感涙のうちに東京ローマ防共協定強化の歴史的握手を交したフアシスト訪日使節團パウエル侯一行は、四月二日退京西下、三日には名古屋から伊勢神宮に参拝、爾來關西各地で我が熱狂的歓迎裡に日伊親善の交響を交しつゝあつたが、十八日神戸を出帆、繪の如き風景をめづつ海路別府に向つた。
一行は春暖かい一日を滿の町に休養した後、北九州の工業都市を訪ね、二十二日下關からいよいよ日本内地の土を離れ朝鮮をへて、新興滿洲州に向ひ、更に北支の新國家を觀察して、五月十八日上海から歸國の途につく豫定である。



北京四郊自衛團

新興北京をめぐる四つの郊外、東西南北の各地區毎に結成された自衛團は四月七日市東原廣場に精銳三千名が會し、カーキ色の團服も甲斐々々しく雄大な合同檢閲式が行はれた。

北京市長余晉蘇氏は當日四郊自衛團總隊長としてこれを指揮檢閲し、中日兩軍警備部も臨席、ブラス・バンドの吹奏も勇ましく運典と分列式を舉行、瀟灑たる意氣を示した。同自衛團は軍特務部、官憲隊等の指導のもとに猛訓練をうけ團員も既に七千名を越え、首都北京の護りとして重任についてゐる。



四郊自衛團總隊長余氏檢閲團員に自衛團員の心得を質問す



新しい團旗はカブよくもはためき、新興北京を護る若人の意氣はいやが上にもあがる



ブラス・バンドの吹奏高らかに檢閲式始まる



日頃の訓練振りを示すはこのときぞと隊伍整々見事な分列式



8

1 児童が特設された年であり、又、母子保護法など関係法律の公布された年でもある。

2 児童は、われ／＼國民は、この児童ある「児童愛護週間」を期して、子供は國の寶の考への下に、我の子、人の子の差別なく児童を愛護しやうではないか。

3 眼の悪い子供たち——都會には殊に多いが、温かい思ひやりと注意をもつて接してやらなければならぬ。

4 東京麻布の南山小學校弱視児童受持の足上頭等が語る、

「日本に弱視児童の教育が開始されて五年になります。然しまだ日本には残念な事から南山小學校の二學級があるだけで、諸外國に比べますとすつと少ないわけは何となくしていません。

南山小學校の弱視児童學級には今年三年生から六年まで二十八人の子供達が幸福な毎日を通して居ります。」

5 弱視に産れた赤ちゃんはおよそ三歳三迄、それが月足らずの早産児の場合はこの半分くらゐしかないと、それをよく、やさしい母の顔を見ることが出来ないで、はかなくも天國に旅立つ宿命を負はされてゐた。然し現在の醫學は貴い生命とあらば出来る限り方法を講じてこれを立派に育て上げやうとしてゐる。この寫真も最も新しい方法の一つで、ターベといふ「すばこ」の中に入れられた赤ちゃんは母胎内と同じ条件下に育てられてゐる。

6 東京 赤十字社

7 子供たち、心身ともに健やかにすく／＼と、のびよ育てよう。

8 東京 日比谷公園内児童遊園

9 町へもなく寄るべもない不埒な寫真も、この世に働らく生甲斐を感じるのでなければならぬ。

10 社會施設はあつた、かい手をさし、のべてこれら母子を救済してゐる。畫——子供たちは託兒所に母は労働の暇に、そして夜は母子水いらすの楽しいまどおがこゝに開かれる。

11 東京 二番母の家

12 青い鳥、銀のさじ、カア／＼とコン／＼風が話をする子供達の國！家庭の豊かでない子供たちもこゝではみんな王子さま……

13 東京 二番保育園

子供は國の寶である。次代を背負つて起つ小國民は双葉のうちによくならねばならぬ。願ひの未來が約束される。願ひの未來が實現される子供の生涯は國家の寶を預かる。今や國運途上にある日本の將來を荷ふべき児童を健全に育てることはわれ／＼に課せられた重大な任務である。児童の愛護、保護、訓練、教育、指導等は國家建設の重要な一分野である。強く正しく伶俐な子供には正統と繁榮の國家が托されやう。

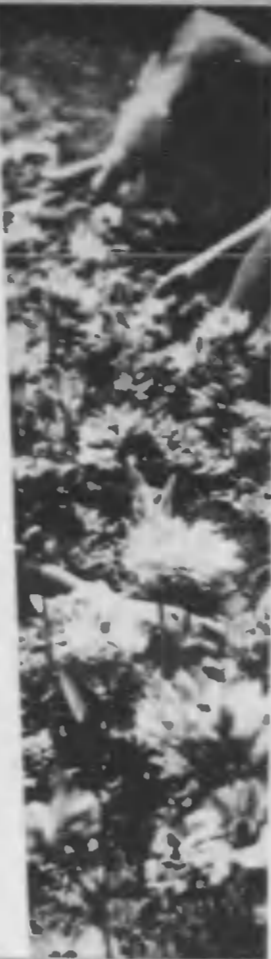
我が國昭和二年のいたいたいな乳幼児死亡率は千人につき百四十二人といふ能るべき高率を示して自慢にならない世界の高位を占めてゐた。この年から、せめて、國の寶、子供たちの死亡率を半減したいと云ふ「乳幼児愛護デー」の全國的運動が展開され、五月五日端午の節句を中心に前後一週間、中央社會奉獻協會の主唱の下に毎年舉行され、着々實効をあげてきた。即ち、昭和二年の一四・二パーセントといふ死亡率は昭和十一年には一一・七パーセントにまで低められてゐる。

そして今年、第十二回、對象も改めて「児童愛護週間」となり、凡ゆる方法をつくして、一、児童愛護に関する知識の普及宣傳、二、児童保護施設の擴充整頓をはからうとしてゐる。

子供たちの心理、子供の習性等をわねばならぬ。——餘程の子供たちをして「強く、正しく、愛らしく」育てるために。

殊に、今年、國民體向上並びに國民生活安定に関する事務を掌る厚生省が創設せられ、同省





9 つ屋根の下、安らかな夢は結ば
れる。このひき出しベッドは自分
のことは自分でする習慣をつけ、
寮間は引つこめて廣間になる仕か
け。 東京野田ヶ谷 育 成 園

10 「サアアアみんな起つきて、お
親は綺麗に洗ひませう。」
親のない子供たち、親に電話して
もらへない子供たちは、こゝでは
んとへにはたの見る目も無く六
十人、共同の生活を営んでゐる。
東京野田ヶ谷 育 成 園

11 朝ごはん、みんな揃つて食前のお
祈り。こゝには可憐で敬虔な信仰
生活（基督教ニヨリ）の一環
がくりひろげられる。子供たち
の造つた言葉、子供たちの大好き
なパンを食べる日。 東京野田ヶ谷 育 成 園

6 明るくて大きく豪華なサン・ル
ムーボンもお耳ももうそん
なに痛くはない。さん／＼とより
そとで陽射しをあびて、子供たち
の夢は浮きだつ、天まで、空まで。
東京 聖路加病院
城玉園（少年科） 武蔵野学院

7 素直な心をもたせう、みんな日
本人だ、力強く生きねばならぬ。
大地のにはびを嘆いてごらん、奇
麗な花を見つけてごらん。
東京 聖路加病院
城玉園（少年科） 武蔵野学院

8 この葛籠をつたカマランも昔
はこのお爺りさんに手をひかれた
ものでした。 東京野田ヶ谷 育 成 園



添ひ寝をすると、お母さんの乳房や腕でつ
い可愛い坊やを慰めさせることもありま
すから……◇



◇ 弱々に寝かせてませう

買ひ食ひのくせをつけないやうに、もし、
いかゞはしいものなど食べて消化不良にで
もなつたら……▲



▲ きれいに洗つたおててにお母さまから
おやつをあげませう

せがまれるまゝに、いつまでも乳離れをし
ないでゐると、發育が遅れます▲



▲ 一ヶ年半もたてば、そろゝお席位か
ら離乳にとりかゝりませう

段かい陽ざしが窓から照くのに、着ぶくれ
ておこたにもぐりこんでなどゐないで……□



□ 子供は風の子、戸外で元氣よく遊ばせ
ませう

セルロイドの玩具を火鉢にかざしてゐます
よ、危い！×



× 隠ひぐるみのワン／＼や、クマさんや
木製のおもちや等なるべく危険のないもの
を與へませう

ハイキングに行つたとき……御覽なさい、
まあ、川の水をのんでゐますよ、疫病にで
もなつたらどうします……◎



◎ お家を出るとき、忘れないやうに水筒
の水を用意しませう

路上の一人遊びは怪我のもと……◎

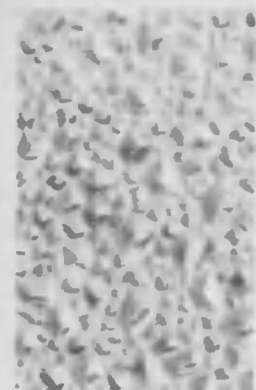


◎ お母さんや姉さん、どなたでも手のす
いた方が廣場や兒童遊園へ連れて行つてお
守りをしてあげませう

こんなに背を丸めて……
目も悪くなれば、背骨も曲ります……○



○ 學校へ上つたら、先生の仰言る通り、
お家へ歸つても正しい姿勢で勉強するやう
注意してやりませう



⇒ 京都植物園に描かれた
微笑しい風景
京都日日新聞社



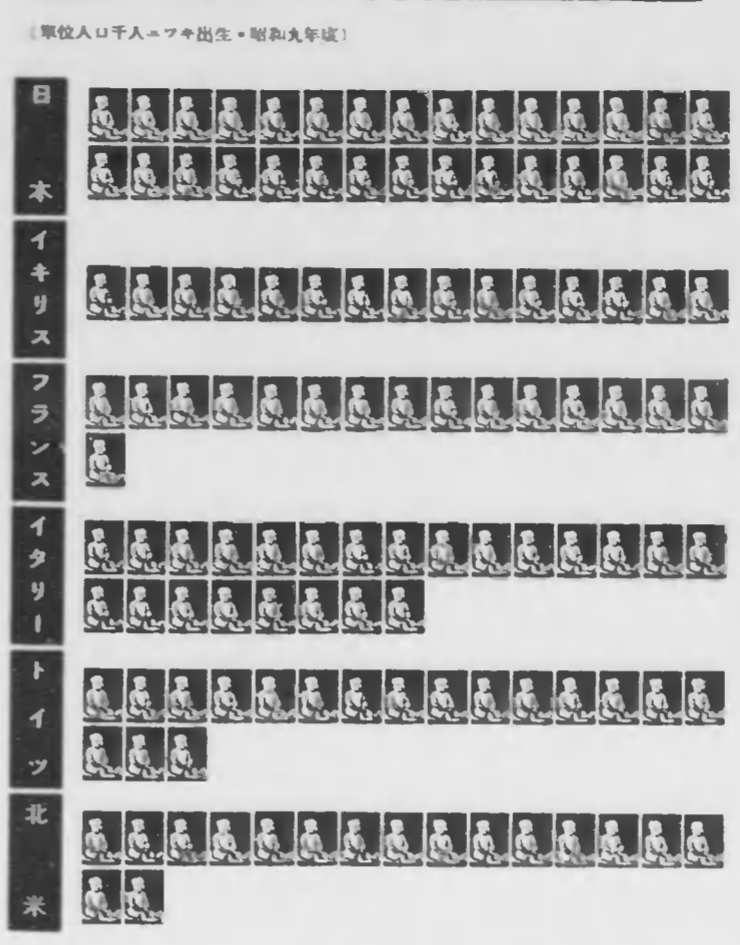
組さんたちの赤誠
京都日日新聞社

産業挺身隊を送る
教員市橋 岡田 幸吉



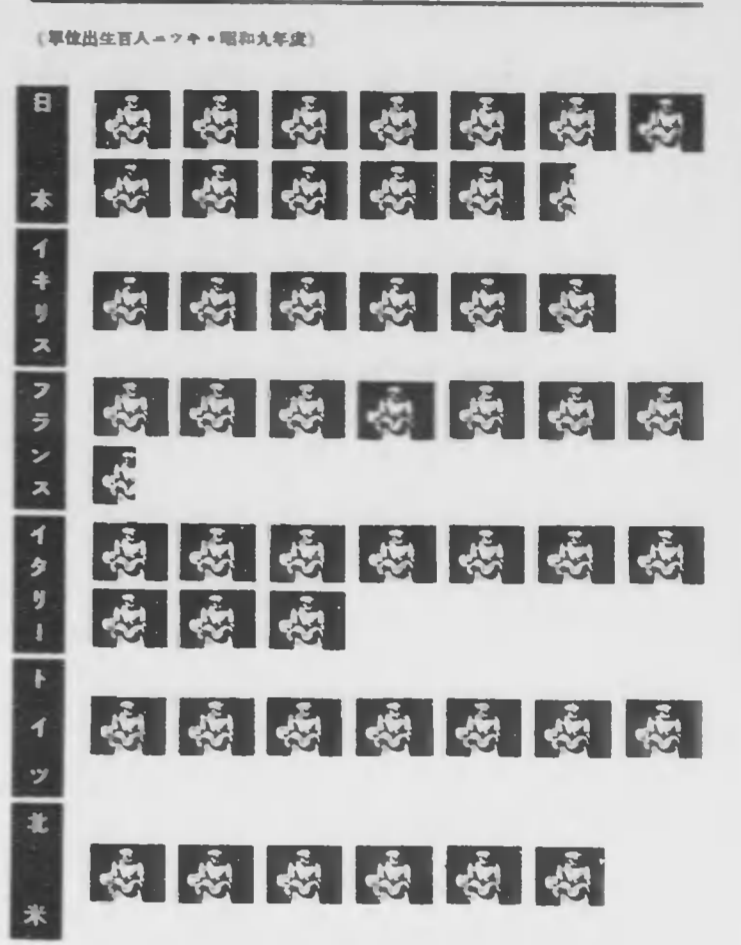
一銭献金に
少年の赤心
名古屋市 高田 博

世界各國ニオケル出生比較



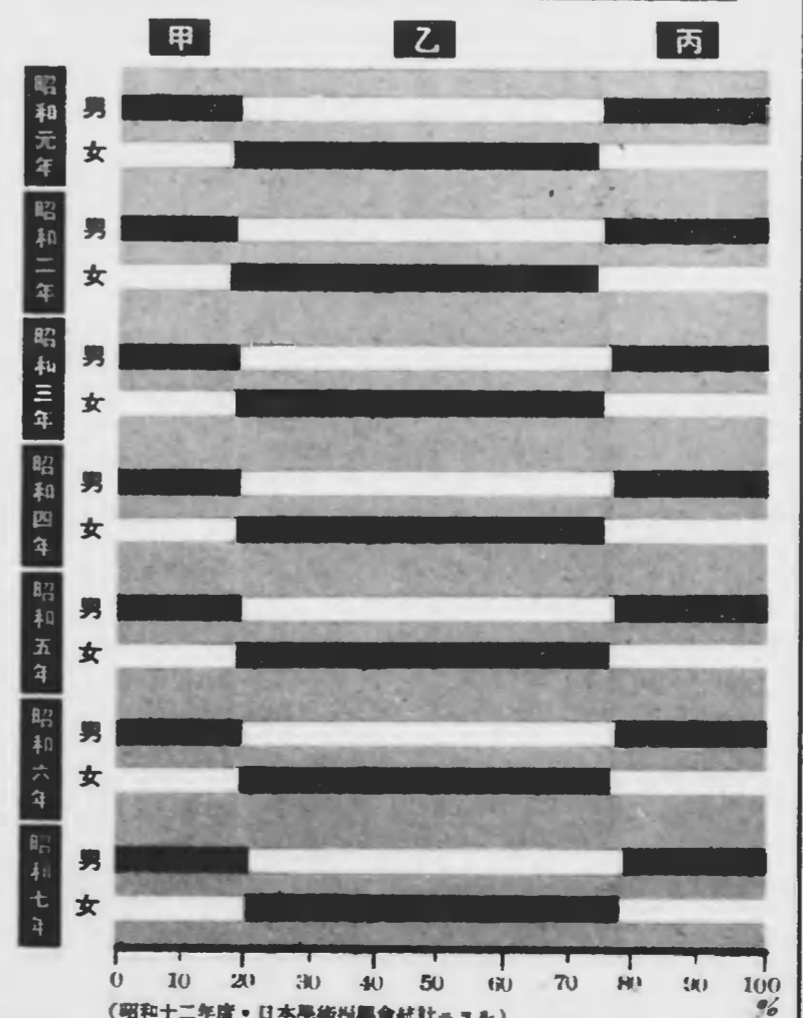
(昭和十二年度・日本學術振興會統計ニヨル)

世界各國ニオケル乳児死亡比較



(昭和十二年度・日本學術振興會統計ニヨル)

全国公私立小学校児童發育概要



小学校児童近視眼累年比較



大坂市の 技術向上運動

大坂市技術向上運動委員会

國民精神總動員運動の源流たる壁に應じて、事業第一主義の傳統を誇る大坂市の技術職員二萬は、昨年十一月以來半歳の長きにわたり技術向上運動を起し、土木、建築、電気、機械等の各技術部門を挙げ、技術精神の陶冶、技術の向上を圖り、非常時後の戦士として、大いに國策順應の責を擧げることとなつた。

この運動の主旨目標は、技術の向上、現場の振興、物資の愛護、協力協同、市民への奉仕であつて、新しい時潮と使命に順應すべき技術水準の開拓高揚をめざしてゐる。

この運動は恒久的なものとして、土木科會、建築科會、電気科會、機械科會、技術關係事務科會の積極的な刷新、研究改善組織の結成となり、四月五日から十一日までの一週間に「技術向上週間」として各部門こぞつて華々しい活動を示した。

技術報國の誓ひ



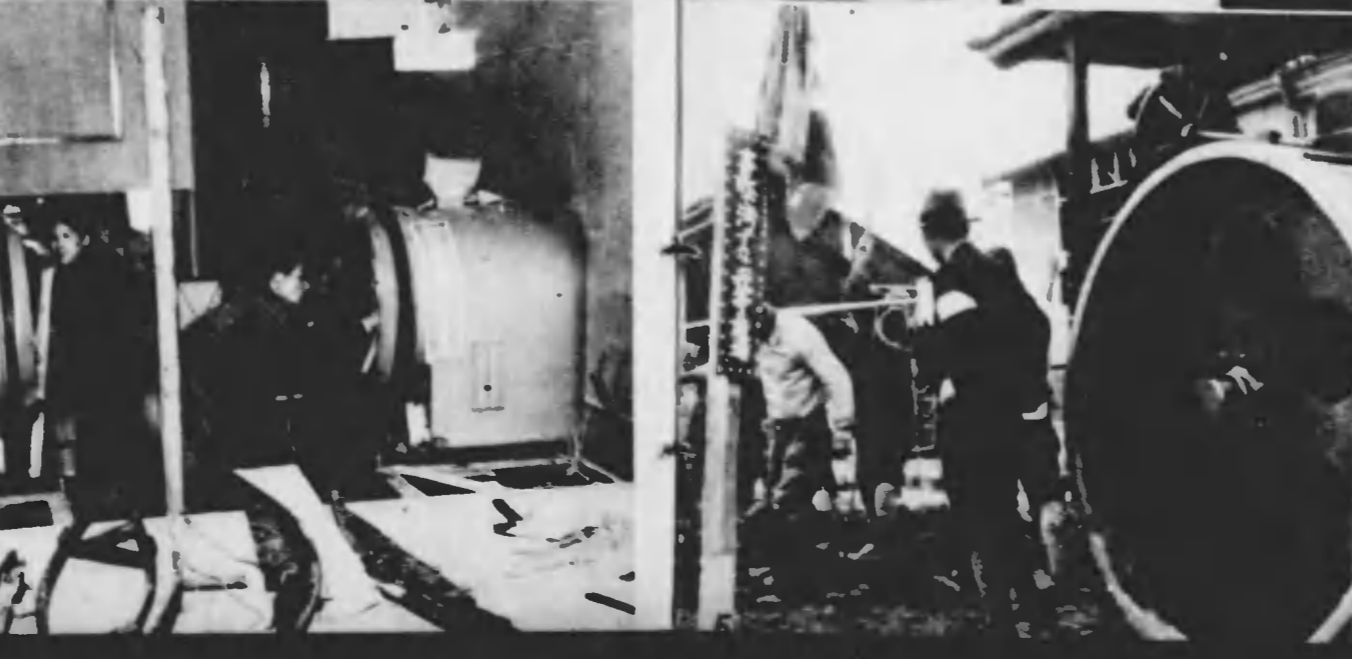
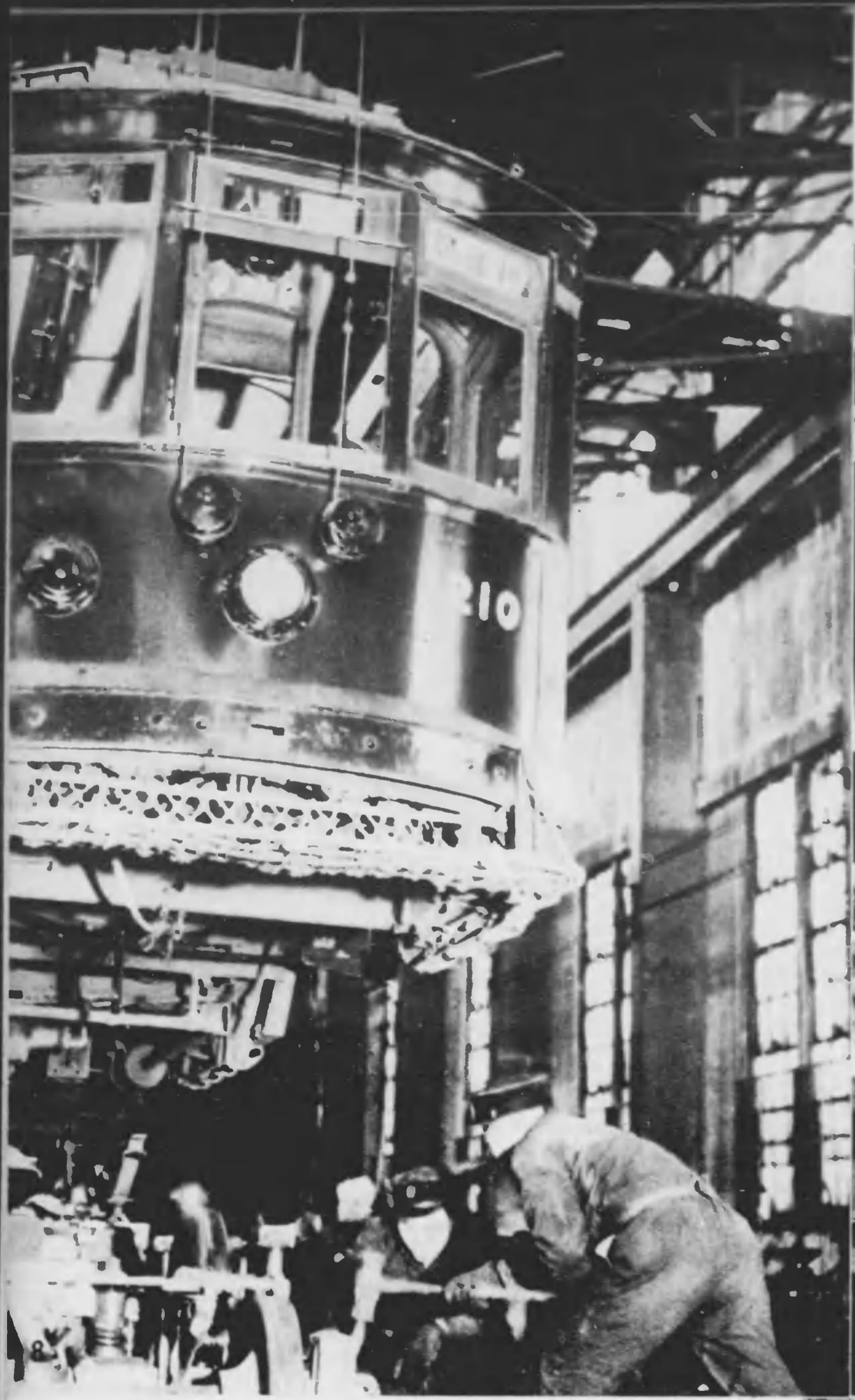
2



4



1



- 1 水と戦ふ挺身隊、全身しづきを浴びて破壊箇所へ組みついて行つた。十分間とたぬうちに燃急装置がほどきられ、新しい給水管に替へられた。
- 2 〇〇キロの爆弾が炸裂した。直徑四センチの水道給水管はみるも無事に切断され、水は容赦なく噴出してゐる。水道部へ警報が入るや、数臺のトラックに満載された工夫は時をうつつす現場へかけつけた。
- 3 安治川の河底トンネルは進捗してゐる。技術改善愛市の「一歩」の標語の下、若きエンヂニヤは懸命だ。意外の現場旗は川風に靡る。
- 4 橋が爆破された。橋は大坂市交通のキーポイントだ。直ちに修理しなくてはならない。百數十名の土木部員は敵前築橋もかくやと決死の面持である。
- 5 道路工事も難然と、「事故で汚すな我等の職場」眞摯な衣
- 6 鶴町の灌漑部附屬工場は防空壕防火演習に好成績をおさめた。演習終つて一同整列、歌ふ愛國行進曲もたからかに、最後の誓ひはかたし。
- 7 天王寺の地下にも現場旗が職場をまもる。地下鐵工事にも「加へよ技術に不断の工夫」
- 8 市電工場に引きこまれた故障車はたちまち修理される。數日を要した工事も「技術報國」の一念は數時間にこれを短縮、市民の足を死守してゐる。





動物園向上術

大阪市天王寺公園の動物園も一技術向上運動に参加した。一朝大阪市の空を騒がせ、動物園にも雷鳴が降った。猛獣は檻を破って街に飛び出さないと限らない。爆撃と猛獣の恐怖！

一檻を死守せよと動物園の従事員は技術向上週間中の一日、四月八日午前十一時、観客を入れたまま空襲演習を行った。只今、ライオンの檻近く爆弾が炸裂しました。ライオンは飛び出さずして居ます。一檻内のラウドスピーカーが叫ぶ中を園丁は甲斐々々しく観念の感涙にあふれた。

- 1 大豹が檻を破ってノックリと園内にはひ出して来た。危い！ 豹が出たぞ！ 園丁は捕獲器をもって挺身奮ひついで、あざやかに口に捕獲器をかけた。
- 2 密つたかつて、手とり足とり。
- 3 板にしばつて十分間の後には再び檻へ、板の上で、ビタ釣、演習とも知らず二りや一體どうしたとちや。
- 4 猪が檻を破って躍り出た。仁田四郎はあごひもも甲斐々々しく八方から網で鮮やかに伏せた。
- 5 もしライオンが檻を破つたらどうしやう。爆撃で身をかくして射殺する外はない。爆撃にライオンはどう反應するだらうかとやってみたら、よく馴れた同園のライオンは何のこともちや」と平然たるもの、これに反して勇ましく銃をかまへた園丁君一けぶとおて、けぶとおて、何が何やら見えへん。
- 6 脚足の動物には投擲で。
- 7 鳥類が逃げたら、よしずでギリ〜と園丁でいたぬやうにつかまへる。





本日の

東 栃 縣
京 木 本
府 縣 縣

練試！よ見 力の後銃

〇前線と銃後は婦人の力によつていよいよ固く結ばれる。
昨冬軍部から傷病兵士の白衣、肩章など多数軍用品の縫製を依頼された都下女学校及び婦人團體では、「針車國」はこの時ぞと、四萬三千の女性を総動員、可憐な指先に愛國の眞心をこめて所定の期間内に見事全製品を軍部に納入した。
東京市



〇一針、一針に愛國の眞心こめて縫ひあげた納品は山と積まれて投産場に運ばれて来た。

裁縫 教室

白衣を縫ひて

東洋英和女学校 五ノ二
渡邊ひろの

〇前線と銃後は婦人の力によつていよいよ固く結ばれる。昨冬軍部から傷病兵士の白衣、肩章など多数軍用品の縫製を依頼された都下女学校及び婦人團體では、「針車國」はこの時ぞと、四萬三千の女性を総動員、可憐な指先に愛國の眞心をこめて所定の期間内に見事全製品を軍部に納入した。

私は生れつき裁縫が下手である。下手であるから裁縫は大嫌ひだったが、今迄はそれでよいと思つてゐたし、又それは不自由だとも思はなかつた。けれど今度白衣を縫ふにあつたつて私は、つくづく自分の下手な事を知つたと同時に深く後悔せずには居られなかつた。御願の爲に隔つた方々の事を考へると、一枚でも多く出来るだけ奇麗にと焦せれば焦せる程、進まぬ針先を眺めて、情無く思つた事は何度あつたか分らない。でも私は一生懸命縫つた。

枚数が多くなるにつれて、左手の指にはつきりと針先でいためた傷を、今ジーンと見つてみると、私の顔を数々の思ひ出がからすめて行く。「見てよ、私の指を」とすきすきしたむ指先を友達に見せたら、どの友達も「あら私もよ」といたくしい指先を見せてくれたので大笑ひをした事もあつた。聞くところによると、東京市内の各女学校が、殆んど畢つて縫つたさうであるが、少くとも白衣を縫つた人々の左手の指先には、此の名譽ある傷あつたか分らないではないかと考へる時に、私は何とも言へぬ感激に、胸のあ

つくなる思ひがする。そして銃後の固き誇りが、あの純白な白衣を通し、私達女學生の間にしつかりと結ばれてゐるのを感じずには居られない。生徒は勿論、先生方も眞白い襟袷に、飾さんかぶりも甲斐々々しく、同じ仕事に向つて働いて、男の先生方までも總動員しての忙しい雰囲気の中に、何とも言はれぬ心強さと、和やかな喜びを感じた者は、恐らく私一人ではないであらう。



〇前線と銃後は婦人の力によつていよいよ固く結ばれる。昨冬軍部から傷病兵士の白衣、肩章など多数軍用品の縫製を依頼された都下女学校及び婦人團體では、「針車國」はこの時ぞと、四萬三千の女性を総動員、可憐な指先に愛國の眞心をこめて所定の期間内に見事全製品を軍部に納入した。

〇前線と銃後は婦人の力によつていよいよ固く結ばれる。昨冬軍部から傷病兵士の白衣、肩章など多数軍用品の縫製を依頼された都下女学校及び婦人團體では、「針車國」はこの時ぞと、四萬三千の女性を総動員、可憐な指先に愛國の眞心をこめて所定の期間内に見事全製品を軍部に納入した。



〇前線と銃後は婦人の力によつていよいよ固く結ばれる。昨冬軍部から傷病兵士の白衣、肩章など多数軍用品の縫製を依頼された都下女学校及び婦人團體では、「針車國」はこの時ぞと、四萬三千の女性を総動員、可憐な指先に愛國の眞心をこめて所定の期間内に見事全製品を軍部に納入した。

補血 滋養 強壯

牛乳蛋白質を原料とする
唯一のアミノ酸強壯剤

ポリタミン

四百五十醫學博士推薦

- (1) ポリタミンは「牛乳蛋白質」を消化した比類のないアミノ酸製剤です。従って……
- (2) 胃腸の弱い人にも、ムダなく吸収されて血肉成分を補ひ、体重を増加します。
- (3) その上アミノ酸独特の細胞賦活作用によって體質を改善し、抵抗力をつよめます。
- (4) また消化液の分泌を促して、著しく健康をなすため、便通をととのへます。
- (5) 更にビタミンBを配合してありますから、一層全身の栄養をたかめます。
- (6) すこぶる甘美味の液剤です。

効主

肺結核其他慢性病衰弱、貧血、
虚弱小兒、産前・産後、手術後、
食慾不振、精力減退、栄養不良

小瓶(100ml) 40円、中瓶(200ml) 70円、大瓶(400ml) 130円、
各埠頭下取あり、郵送料別、外埠頭下取あり、
元買後 可修道市大 通上. 堀市大

海 彼 方



チエフスロワキアに到着する連隊長官
中隊の小隊を率いてチエフスロワキアに到着した連隊長官の一行。チエフスロワキアに到着した連隊長官の一行は、チエフスロワキアの防衛力増強に貢献した。



大連に到着した連隊長官の一行
大連に到着した連隊長官の一行は、大連の防衛力増強に貢献した。



軍事演習の様子
軍事演習の様子を捉えた写真。演習は順調に進められていた。



寫眞専集規定
本誌は「寫眞専集」の一助として、読者から寄稿いただいた寫眞を掲載いたします。寄稿いただいた寫眞は、必ずしも採用されるものではありません。また、採用された寫眞は、本誌に掲載される限り、無断で複製されたり、転載されたりすることはありません。なお、寄稿いただいた寫眞は、必ずしも採用されるものではありません。また、採用された寫眞は、本誌に掲載される限り、無断で複製されたり、転載されたりすることはありません。なお、寄稿いただいた寫眞は、必ずしも採用されるものではありません。また、採用された寫眞は、本誌に掲載される限り、無断で複製されたり、転載されたりすることはありません。



所 込 申		價 定	
一ケ年	十 錢	一ケ年(前金)	四圓八十錢
一ケ年分未済配達御希望の方は一部十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい			
寄 送 先		郵 送 先	
東京市千代田区本町四丁目一ノ二番地		東京市千代田区本町四丁目一ノ二番地	
大日本印刷株式會社		大日本印刷株式會社	
印刷部		印刷部	
東京市千代田区本町四丁目一ノ二番地		東京市千代田区本町四丁目一ノ二番地	
昭和十三年四月二十七日印刷發行		昭和十三年四月二十七日印刷發行	
<p>寫眞週報(兼傳聲)</p>			
海 鉄 見 技 應 兒 四 さ 御 表	の 上 上 術 童 郊 よ う 眞 紙	波 試 試 報 童 自 々 々 眞 紙	方 練 練 報 童 自 々 々 眞 紙
の 徒 徒 報 報 報 報 報 報	の 徒 徒 報 報 報 報 報 報	の 徒 徒 報 報 報 報 報 報	の 徒 徒 報 報 報 報 報 報
同 報 報 報 報 報 報	同 報 報 報 報 報 報	同 報 報 報 報 報 報	同 報 報 報 報 報 報
報 報 報 報 報 報	報 報 報 報 報 報	報 報 報 報 報 報	報 報 報 報 報 報

日本中支の
交通に
萬全を
期する
日本郵船



昭和二十年秋海上長崎間引揚人船に
姉妹船海上丸と共に活躍し長崎甲板上

日本郵船

北支御進出には
近海郵船の
天津航路にて

東京通報
昭和十三年四月二十七日
第三編
昭和十三年四月二十七日發行
（東京）第六百四十一號

（本書の大きさは横切A4・「通報」倍例）